

令和7年度 女性と語るまちづくりトーク 取組状況一覧表

<予算措置の分類>

○：予算措置あり（過年度を含む）、—：予算措置なし

<事業の実施状況の分類>

A：意見・質問等の趣旨に沿って実施したもの（一部実施を含む）、B：実現に向け努力しているもの、C：当面は実現できないが検討課題として受けたもの、D：実現が極めて困難なもの・提言として受けたもの・現状の説明をしたもの

| 整理番号 | 意見・提案等 (内容) | 市の回答 | 担当課 | 令和8年度時点の実施状況 | | |
|------|--|---|--------------------|--------------|---------|----|
| | | | | 予算措置 | 事業の実施状況 | 備考 |
| 1 | 小京都西尾プロジェクトを立ち上げて、エリア限定で統一感のある町並みづくりをしないか。(外壁の色・素材、道路デザイン、植栽など) | 小京都は悩ましい問題だと思っている。合併前は観光で人を呼び寄せることができるのは、歴史公園周辺や西野町の辺りしかなかったため、小京都という方向性について合意が得やすかったが、合併後はベイエリアの方が人気である。また、これまで古い町並みや古い建造物を守ってきたと言い難い。町並み、グルメ、海辺のロケーションなど、市として何を推していくのか、決めかねている。 | 観光文化振興課 | — | C | |
| 2 | ・古民家再生などを利用し、一色産うなぎや西尾の抹茶などを楽しめるグルメ横丁をつくらないか。 ・市の特産品について体験施設などをつくり、何度も訪れてもらえるようにイベントを随時開催しないか。 | 道の駅にしお岡ノ山、西三河農業協同組合の憩いの農園ファーマーズマーケット・憩いの農園ファーマーズガーデン、一色さかな広場を生かしていきたい。これらの施設の連携が深められると、今よりも観光地としての拠点の機能が生きてくと思う。 | 観光文化振興課 | ○ | B | |
| 3 | 多言語の案内看板の設置や、マップやおすすめスポットなどのQRコードによる情報提供などにより、観光案内を充実させないか。 | ※意見・提案のみ | 観光文化振興課 | — | B | |
| 4 | 観光客の話題となるような、インスタ映えするモニュメントを設置しないか。 | ※意見・提案のみ | 観光文化振興課 | — | C | |
| 5 | 観光案内所をもっと目立つ場所に移動させないか。また、駐車場を用意しないか。 | ※意見・提案のみ | 観光文化振興課 | — | D | |
| 6 | ・「抹茶体験号」と称した期間限定バスや市内観光スポットをめぐる観光ぐるりんバスを運行し、市民も利用できるようにしてはどうか。 ・駅前にレンタカーやレンタサイクルの店舗を誘致したり、カーシェアを活用したりしてはどうか。 ・西尾駅のレンタサイクルは、駅から少し離れた観光案内所で行っているため、ばっと見では分からない。台数に限りもある。スポーツサイクルがない。 | くるりんバスを観光用に、もっと言えば、通勤・通学用にまで運行を広げられると良いが、運転手の確保という課題もあり、難しい状況にある。最近では西尾駅前で電動キックボードを試験的に導入している。交通は何が良いかというのは、経費との兼ね合いもあるが、少しでもよくなるように向上させていきたい。 | 地域つながり課 観光文化振興課 | — | C | |
| 7 | 子育てで交流の場所やイベントの情報をもっと手に入れやすくする仕組みをつくらないか。私が携わっている団体でもイベントを行っているが、いろいろな制限から市のSNSに掲載できなかったり、公共施設にチラシが置けなかったりするので、気軽に情報発信できない。 | チラシを置けるかどうかは施設長の判断になってしまう。行政はどこかの団体で1回許可してしまうと…という考え方をしがちであり、そこは行政のいけないところ。子育て支援課に相談してみてください。 | 子育て支援課 | — | A | |
| 8 | 色々な世代の子どもを持つお母さん・お父さんが集まるイベントというのは、なかなかない。子どもだけが主役ではなく、親子みんなで多世代で集える企画があると良い。 | ※意見・提案のみ | 子育て支援課 | ○ | A | |

令和7年度 女性と語るまちづくりトーク 取組状況一覧表

<予算措置の分類>

○：予算措置あり（過年度を含む）、－：予算措置なし

<事業の実施状況の分類>

A：意見・質問等の趣旨に沿って実施したもの（一部実施を含む）、B：実現に向け努力しているもの、C：当面は実現できないが検討課題として受けたもの、D：実現が極めて困難なもの・提言として受けたもの・現状の説明をしたもの

| 整理番号 | 意見・提案等 (内容) | 市の回答 | 担当課 | 令和8年度時点の実施状況 | | |
|------|--|---|--------------------|--------------|---------|----|
| | | | | 予算措置 | 事業の実施状況 | 備考 |
| 9 | 完璧な親でなくても大丈夫という安心感のある場所づくり、失敗談や悩みを温かく受け入れあえるコミュニティを育てていきたい。 | 悩みごとの相談に対して、市の職員が仕事として話をしてしまうと責任が伴うので、気にしなくても大丈夫だよと思っていても、どうしても建前のごしか言えなくなってしまう。しかし、市民同士や友達同士なら気軽に話せる。このため、行政の支援も大事だが、そうではない住民同士のつながりを増やしていくべきだと思っている。子育て、お母さん・お父さんを支援するNPOや市民グループはとても大事で、その存在や企画を知ってもらえると、より効果が出てくると思う。そこをどうするかというのは、大きな課題である。 | 子育て支援課 | － | B | |
| 10 | 空港シャトルバスで、セントレアから西尾市にダイレクトにアクセスできるようにしないか。費用など難しいところがあるのは承知しているが、市内の方にも使ってもらいながら、運営できるように出来ないか。 | セントレアから三河へ行きましようとするのを伸ばしてもらおうというのが大きな課題。車で直接送迎するのもいいが、市長の立場からすると、少し不便でも電車を使ってもらいたい。西尾だけではなく、西三河で取り組んで行く必要がある。 | 地域つながり課 観光文化振興課 | － | D | |
| 11 | 市内の主要観光地へスムーズにアクセスができる観光地周遊バスを充実させながら、交通情報を分かりやすく一元化しないか。 | ※意見・提案のみ | 観光文化振興課 | － | D | |
| 12 | 食・文化・体験など西尾市ならではの魅力と宿泊を結びつけて、滞在そのものが体験になって記憶に残るような仕組みが必要ではないか。既存の宿泊施設を生かしながら、体験型・テーマ型の施設や滞在モデルをつくり、西尾でしか味わえない特別感を味わってもらえるようになると、SNSや口コミによる情報発信につながり、観光産業の可能性が広がっていくのではないか。 | ※意見・提案のみ | 観光文化振興課 | － | C | |
| 13 | 市民の約7%を占める外国人の方に西尾を日本のホームタウンだと認識してもらえ、また、外国人の市民の方の家族や友人に海外から気軽に遊びに来てもらえるような魅力的なまちであってほしい。 | ※意見・提案のみ | 地域つながり課 観光文化振興課 | － | C | |
| 14 | 外国人観光客に、吉良温泉に来てもらえるようになると良いと思う。外国の方は裸で温泉に入るのは難しいと思うので水着をOKにする、また、座敷で布団を敷いて寝るという非日常体験をうまく組み合わせると良いと思う。 | ※意見・提案のみ | 観光文化振興課 | ○ | C | |
| 15 | 外国人や日本人の若者はドミトリー（相部屋／共同部屋）に泊まるのが好きだと思うので、そのような施設があると良いと思う。Airbnbと行政で何かできないか。 | 民泊はチャンス。しっかりと構えたホテルもいいが、民泊の方が外国人や日本人の若い人からすると良いのかもしれない。 | 観光文化振興課 | － | C | |
| 16 | 若者が企画・運営に参加できるイベントを開催しないか。若者は達成感が得られるし、交流の幅も広がるのではないか。 | ※意見・提案のみ | 秘書政策課 | ○ | A | |

令和7年度 女性と語るまちづくりトーク 取組状況一覧表

<予算措置の分類>

○：予算措置あり（過年度を含む）、－：予算措置なし

<事業の実施状況の分類>

A：意見・質問等の趣旨に沿って実施したもの（一部実施を含む）、B：実現に向け努力しているもの、C：当面は実現できないが検討課題として受けたもの、D：実現が極めて困難なもの・提言として受けたもの・現状の説明をしたもの

| 整理番号 | 意見・提案等 (内容) | 市の回答 | 担当課 | 令和8年度時点の実施状況 | | |
|------|--|--|------------------|--------------|---------|----|
| | | | | 予算措置 | 事業の実施状況 | 備考 |
| 17 | 西尾市で就職・定住する人を増やすために、魅力ある企業を知る機会を提供しないか。 | 製造業を中心に就職説明会を開催したり、「就活応援ガイドブック Work in NISHIO」を作ったりしている。 | 商工振興課 | ○ | A | |
| 18 | 西尾市青年国際ワークキャンプはInstagramで発信をしているが、Instagramのアカウントがあることを市で発信しないか。 | ※意見・提案のみ | 地域つながり課 | － | A | |
| 19 | 各学校の日本語教室を充実させないか。一人一人の習熟度に応じたきめ細やかな日本語指導を実現し、学習の定着と進学率の向上を目指さないか。 | ※意見・提案のみ | 学校教育課 | － | B | |
| 20 | 日本語初期指導教室について、もっとたくさん子どもたちをサポートできるように日本語支援員による各教室への巡回回数を増やし、継続して関わられる体制を作らないか。 | ※意見・提案のみ | 学校教育課 | ○ | B | |
| 21 | 外国人保護者も西尾市の大切な市民として、ともに子どもたちの未来を育てる仲間であるという意識を共有して、日本人と外国人が協働できる機会を増やし、相互理解を深めないか。 | ※意見・提案のみ | 地域つながり課 学校教育課 | － | B | |